

2026年3月1日 ガラテヤ4：8－20

説教題 「あなたがたの内にキリストの形ができるまでは」

【今日の説教から】

先週の箇所には、「わたしたちも子供であった時には、いわゆるこの世のもろもろの霊力の下に、縛られていた者であった」とあり、今日の箇所でも、「あなたがたは、本来神ならぬ神々の奴隷になっていた。…どうして、あの無力で貧弱な、もろもろの霊力に逆もどりして、またもや、新たにその奴隷になろうとするのか」と語られています。

パウロは「兄弟たちよ。願います。どうか、わたしのようになってほしい。わたしも、あなたがたのようになったのだから」と語っています。

パウロが「私のようになってほしい」というのはどういう意味でしょうか。

「あなたがたの内にキリストの形ができるまでは、わたしは、またもや、あなたがたのために産みの苦しみをする」

「たとい、あなたがたの信仰の供え物をささげる祭壇に、わたしの血をそそぐことがあっても、わたしは喜ぼう」(ペリピ2章)

パウロは自分のことなど考えてはいません。自分の名誉とか、功績は眼中になく、「わたしは、すべての人に対して自由であるが、できるだけ多くの人を得るために、自ら進んですべての人の奴隷になった。福音のために、わたしはどんな事でもする。わたしも共に福音にあずかるためである。」(1コリント9章)と言っています。「最初わたしがあなたがたに福音を伝えたのは、わたしの肉体が弱っていたため」。彼にとって生きる事はキリスト、捧げる生涯でした。

3月に入りました。皆様おはようございます。一時は最高気温が20度にも及ぶ暖かい日がありましたが、機能などは10度止まりで、今朝は未だ氷点下の朝を迎えております。寒暖差の大きいこの頃、また花粉や黄砂の飛ぶ頃、どうぞ体調にお気を付け下さい。

先週の箇所にはこのようにありました。

「わたしたちも子供であった時には、いわゆるこの世のもろもろの霊力の下に、縛られていた者であった。」

いわゆるもろもろの霊力のもとに縛られていた。

もろもろの霊力。それは、「これは世の中の理だよ、大原則だよ」とうそぶいて人を誘導する力、それは今日の箇所にも次のように記されています。「どうして、あの無力で貧弱な、もろもろの霊力に逆もどりして、またもや、新たにその奴隷になろうとするのか。あなたが

たは、日や月や季節や年などを守っている。」

方角や良いお日にち等、もろもろの迷信めいたことに心捕らわれて、また目に見える誰々さんの力に影響を受け、お勤めを十分に果たしたから私は大丈夫と言った人の業による救いを信じることなく、成長した大人として、本当に大切にすべき、目には見えなくてもこの世界をご支配しておられるお方に目を留めることの大切さが語られています。

1 ペテロ 1:4 あなたがたのために天にたくわえてある、朽ちず汚れず、しぼむことのない資産を受け継ぐ者として下さったのである。

1:5 あなたがたは、終りの時に啓示さるべき救にあずかるために、信仰により神の御力に守られているのである。

1:6 そのことを思って、今しばらくのあいだは、さまざまな試練で悩まねばならないかも知れないが、あなたがたは大いに喜んでいる。

1:7 こうして、あなたがたの信仰はためされて、火で精錬されても朽ちる外はない金よりもはるかに尊いことが明らかにされ、イエス・キリストの現れるとき、さんびと栄光とほまれとに変わるであろう。

1:8 あなたがたは、イエス・キリストを見たことはないが、彼を愛している。現在、見てはいけなけれども、信じて、言葉につくせない、輝きにみちた喜びにあふれている。

1:9 それは、信仰の結果なるたましいの救を得ているからである。

4:8 神を知らなかった当時、あなたがたは、本来神ならぬ神々の奴隷になっていた。

4:9 しかし、今では神を知っているのに、否、むしろ神に知られているのに、どうして、あの無力で貧弱な、もろもろの靈力に逆もどりして、またもや、新たにその奴隷になろうとするのか。

4:10 あなたがたは、日や月や季節や年などを守っている。

4:11 わたしは、あなたがたのために努力してきたことが、あるいは、むだになったのではないかと、あなたがたのことが心配でならない。

4:12 兄弟たちよ。願います。どうか、わたしのようになってほしい。わたしも、あなたがたのようになったのだから。あなたがたは、一度もわたしに対して不都合なことをしたことはない。

4:13 あなたがたも知っているとおり、最初わたしがあなたがたに福音を伝えたのは、わたしの肉体が弱っていたためであった。

4:14 そして、わたしの肉体にはあなたがたにとって試練となるものがあつたのに、それを卑しめもせず、またきらいもせず、かえってわたしを、神の使かキリスト・イエスかでもあ

るように、迎えてくれた。

4:15 その時のあなたがたの感激は、今どこにあるのか。はっきり言うが、あなたがたは、できることなら、自分の目をえぐり出してでも、わたしにくれたかったのだ。

人の心のいかに移り変わりやすいことかを示しています。「その時のあなたがたの感激は、今どこにあるのか。はっきり言うが、あなたがたは、できることなら、自分の目をえぐり出してでも、わたしにくれたかったのだ」。

パウロが、「わたしの肉体が弱っていた」と言ったのは、目の病であったのかと推測されます。それが度重なる石打ちの刑やむち打ちの刑などの迫害によるものかどうかは分かりませんが、その目の有様は彼の見てくれに大きな影響を与えていたのだと思います。

2 コリント 10:9 ただ、わたしは、手紙であなたがたをおどしているのだと、思われたくはない。

10:10 人は言う、「彼の手紙は重味があって力強いが、会って見ると外見は弱々しく、話はずまらない」。

10:11 そういう人は心得ているがよい。わたしたちは、離れていて書きおくる手紙の言葉どおりに、一緒にいる時でも同じようにふるまうのである。

10:12 わたしたちは、自己推薦をするような人々と自分を同列においたり比較したりはしない。彼らは仲間同志で互にはかり合ったり、互に比べ合ったりしているが、知恵のないしわざである。

10:13 しかし、わたしたちは限度をこえて誇るようなことはしない。むしろ、神が割り当てて下さった地域の限度内で誇るにすぎない。わたしはその限度にしたがって、あなたがたの所まで行ったのである。

2 コリント 12:1 わたしは誇らざるを得ないので、無益ではあろうが、主のまぼろしと啓示とについて語ろう。

12:2 わたしはキリストにあるひとりの人を知っている。この人は十四年前に第三の天にまで引き上げられた――それが、からだのままであったか、わたしは知らない。からだを離れてであったか、それも知らない。神がご存じである。

12:3 この人が――それが、からだのままであったか、からだを離れてであったか、わたしは知らない。神がご存じである――

12:4 バラダイスに引き上げられ、そして口に言い表わせない、人間が語ってはならない言葉を聞いたのを、わたしは知っている。

12:5 わたしはこういう人について語ろう。しかし、わたし自身については、自分の弱さ以

外には誇ることをすまい。

12:6 もっとも、わたしが誇ろうとすれば、ほんとうの事を言うのだから、愚か者にはならないだろう。しかし、それはさし控えよう。わたしがすぐれた啓示を受けているので、わたしについて見たり聞いたりしている以上に、人に買いかぶられるかも知れないから。

12:7 そこで、高慢にならないように、わたしの肉体に一つのとげが与えられた。それは、高慢にならないように、わたしを打つサタンの使なのである。

12:8 このことについて、わたしは彼を離れ去らせて下さるようにと、三度も主に祈った。

12:9 ところが、主が言われた、「わたしの恵みはあなたに対して十分である。わたしの力は弱いところに完全にあらわれる」。それだから、キリストの力がわたしに宿るように、むしろ、喜んで自分の弱さを誇ろう。

12:10 だから、わたしはキリストのためならば、弱さと、侮辱と、危機と、迫害と、行き詰まりとに甘んじよう。なぜなら、わたしが弱い時にこそ、わたしは強いからである。

彼にそのような弱さがあったからこそ、パウロはガラテヤの地に福音をもたらすこととなったということが語られています。

4:13 あなたがたも知っているとおりに、最初わたしがあなたがたに福音を伝えたのは、わたしの肉体が弱っていたためであった。

ローマ 8:14 すべて神の御霊に導かれている者は、すなわち、神の子である。

8:15 あなたがたは再び恐れをいだかせる奴隷の霊を受けたのではなく、子たる身分を授ける霊を受けたのである。その霊によって、わたしたちは「アバ、父よ」と呼ぶのである。

8:26 御霊もまた同じように、弱いわたしを助けて下さる。なぜなら、わたしたちはどう祈ったらよいかかわからないが、御霊みずから、言葉にあらわせない切なるうめきをもって、わたしたちのためにとりなして下さるからである。

8:27 そして、人の心を探り知るかたは、御霊の思うところがなんであるかを知っておられる。なぜなら、御霊は、聖徒のために、神の御旨にかなうとりなしをして下さるからである。

8:28 神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。

「万事が益となる」という御言葉を私たちは知っています。しかしそれが益となったと分かるまでには様々の経由地を経る必要があります。パウロにとっては何度も願ったその病の癒しの祈りが聞かれなかったということ、そこに大きな苦しみがあり続けるのですが、やが

て彼は悟るのです。これは自分を高慢にしないがための神様からの使いであると。そしてここでも、どういう成り立ちかは知りませんが、彼のその弱さのゆえにガラテヤの地に福音が語られることとなるのです。まさに「わたしが弱い時にこそ、わたしは強い」ということであり、そういうところを通らされることによって「神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知」ることとなるのです。

ローマ

5:1 このように、わたしたちは、信仰によって義とされたのだから、わたしたちの主イエス・キリストにより、神に対して平和を得ている。

5:2 わたしたちは、さらに彼により、いま立っているこの恵みに信仰によって導き入れられ、そして、神の栄光にあずかる希望をもって喜んでいる。

5:3 それだけではなく、患難をも喜んでいる。なぜなら、患難は忍耐を生み出し、

5:4 忍耐は錬達を生み出し、錬達は希望を生み出すことを、知っているからである。

5:5 そして、希望は失望に終ることはない。なぜなら、わたしたちに賜わっている聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからである。

このような神様の深いお取り扱いというものは、私たちが自分の願いばかりを優先させていては見えない世界なのです。すぐにはなえてください、神様ならばできるでしょうという祈りをする人は、神様の深いお取り扱いの世界を体験することが出来ないでしょう。

4:15 その時のあなたがたの感激は、今どこにあるのか。はっきり言うが、あなたがたは、できることなら、自分の目をめぐり出してでも、わたしにくれたかったのだ。

4:16 それなのに、真理を語ったために、わたしはあなたがたの敵になったのか。

このような信仰の幼さを抱えている人は、時に神様のお導きに耐えられない時があります。実際パウロに対しては、「そんなはずではない」と強硬に反対され、敵視されるまでになったところには書かれています。

そこに仕向ける人たちがいたのです。教会の人たちを見目麗しい聞き心地の良い安易な言葉で引き寄せて違う道へと引き付けようとする人たちがいるのです。彼らの目的は、人々を自分に引き付けることなのです。

4:17 彼らがあなたがたに対して熱心なのは、善意からではない。むしろ、自分らに熱心にならせるために、あなたがたをわたしから引き離そうとしているのである。

4:18 わたしがあなたがたの所にいる時だけでなく、いつも、良いことについて熱心に慕われるのは、良いことである。

4:19 ああ、わたしの幼な子たちよ。あなたがたの内にキリストの形ができるまでは、わたしは、またもや、あなたがたのために産みの苦しみをする。

4:20 できることなら、わたしは今あなたがたの所において、語調を変えて話してみたい。わたしは、あなたがたのことで、途方にくれている。

ここにパウロの親心があります。「私の幼な子たちよ」、どうしてあなた方はいつもいつも成長しきれないのか。それも簡単に真理から離れてさまよい、悪い者たちに引き寄せられるのか。

わたしたちも子供であった時には、いわゆるこの世のもろもろの霊力の下に、縛られていた者であった。

4:8 神を知らなかった当時、あなたがたは、本来神ならぬ神々の奴隷になっていた。

4:9 しかし、今では神を知っているのに、否、むしろ神に知られているのに、どうして、あの無力で貧弱な、もろもろの霊力に逆もどりして、またもや、新たにその奴隷になろうとするのか。

4:19 ああ、わたしの幼な子たちよ。あなたがたの内にキリストの形ができるまでは、わたしは、またもや、あなたがたのために産みの苦しみをする。

4:20 できることなら、わたしは今あなたがたの所において、語調を変えて話してみたい。わたしは、あなたがたのことで、途方にくれている。

今は懇願の叫びのような声を上げているが、語調平かに、平和裏に会いたいものだ。しかしあなた方は私にそうすることを許さない。ああ、私はあなたのことで途方に暮れている。ああ、わたしの幼な子たちよ。あなたがたの内にキリストの形ができるまでは、わたしは、またもや、あなたがたのために産みの苦しみをする。

パウロの親心がここに、にじみ出ています。

私たちに何よりキリストに結ばれることを願い、この信仰の実体の本物に目を留めて、この方に根差した生き方をして、このお方が私たちの内に形作られるようにと願おうではありませんか。この方こそ神であり、私たちは二度と、「本来神ならぬ神々の奴隷」にならず、「あの無力で貧弱な、もろもろの霊力に逆もどりして、またもや、新たにその奴隷になろうとする」、そうさせようとする諸力をはねのけて、良いほうを選び続けていきたいと願うの

です。

◇祈禱；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。「あなたがたもわたしのようになってください。兄弟たち、お願いします…わたしの子供たち、キリストがあなたがたの内に形づくられるまで、わたしは、もう一度あなたがたを産もうと苦しんでいます」とのパウロの言葉が強く心に残ります。ただキリストによって罪贖われて新たに生まれ、キリストに根差して生きることが出来るように、私たちをお導きください。あらゆる苦しめる方々を神様の救いと平安の中にお導き下さい。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。私たちをお用い下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン